



～現場改善を担う人材育成プログラム～

腰痛・転倒対策を、研修で終わらせない。

労働安全実装研修

本研修は、作業負荷の軽減および生産性向上に向けて、自社内で対策を企画・実行・改善できる人材を育成する教育訓練プログラムです。

製造・物流現場の転倒／腰痛リスクに対し、現場で“継続できる対策を構築します。研修で終わらず、現場で使える仕組みづくりを支援します。

御社の作業内容・人員体制・現場課題に合わせて、腰痛・転倒リスクの低減を「知識」「実践」「運用」の3つの視点から整理し、現場で継続できる形で定着を支援します。

1 研修内容

目的

- 腰痛・転倒の原因を、御社の作業内容に沿って整理します
- 御社の現場に合わせて、負担の大きい作業・再発しやすい動作・改善余地を明確にします
- 研修で終わらず、日々の業務の中で継続できる対策として定着を目指します
- 現場担当者や管理者が、自社で点検・改善・共有できる状態づくりを支援します

特徴

- 現場の作業内容に合わせて個社別に設計
- 腰痛・転倒リスクを作業単位で整理
- 知識習得と実践支援の両面から対応
- 担当者・管理者が現場で回せる形に定着支援
- 身体負荷に加え、心理的負荷（ストレス）にも対応可能な設計
- 必要に応じてアシストスーツ等の補助手段も中立的に提案可能

※対面研修対応
※1コマあたり2時間～
※進捗に応じて内容調整可能
※参加人数応相談

2 料金

研修プログラム料金	個社別設計となります
含まれるもの	事前整理／講義・ワーク・実技（安全配慮）／配布資料／成果物

※人材開発支援助成金の活用により実質負担軽減が可能です

※助成金活用の可否は、要件および所轄行政機関の審査により決定されます。

※本研修は少人数のリーダー層を対象に、現場全体へ展開可能な実践力の習得を目的としています。

3 研修プログラム

A 現場課題の整理と重点対策の設定

- 労災や腰痛・転倒の要因を、御社の作業内容に沿って整理します
- 作業・動作・役割・環境の観点から、負担が集中している場面を確認します
- 現場で継続して取り組むべき対策を、重点項目として明確にします

成果物

- 重点対策一覧
- 優先工程の整理
- 実施方針案

B フィジカルチェックと作業適合の見立て

- 姿勢・柔軟性・体幹機能などを、安全に配慮しながら確認します
- フィジカルチェックを通じて、作業に対する身体適合性を評価します
- 「強化すべき能力」と「作業側に調整が必要な点」を整理します

- チェック結果
- 留意点一覧
- 作業配慮の要点

C 腰痛予防の実践指導とセルフケアの定着

- 腰痛が起きやすい背景を、現場変化や作業負荷と結びつけて整理します
- 動作・作業導線・取り扱い方法・短時間の実践メニューを指導します
- 続けやすい形で、誰が・いつ・どこで行うかまで設計します

- 実践メニュー
- 実施条件
- 朝礼・現場導入案

D 現場対策の見直しと改善優先順位づけ

- 既存の対策が、現場で実際に機能しているかを確認します
- 服装・動線・積み方・設備・作業配分等の観点から整理します
- すぐ着手できる改善項目から、優先順位をつけて提案します

- 改善項目一覧
- 優先順位表
- 月次点検の要点

E 自走できる運用づくりと定着支援

- 実施担当・確認方法・共有方法を決め、現場に即した運用に落とし込みます。
- 朝礼、巡回確認、月次点検、記録などを簡潔に整備します
- 「やる人任せ」ではなく、現場内で回る仕組みとして定着を支援します。

- 運用ルール案
- 担当表
- 記録・共有フォーマット

【本研修の成果】

- 自社の腰痛リスク構造の可視化
- 改善を推進できる担当者の育成
- 現場改善計画の策定
- 現場で継続できる運用体制の構築

お客様のご要望、実際の作業内容や環境、目的に応じて、必要な内容を組み合わせた実装型プログラムとしてご提案します。

4 研修後の定着支援（オプション）

本研修は、受講して終わりではなく、現場で実践され、継続されてこそ成果が出ると考えています。そのため、実施後の運用確認や改善提案、定期チェックなど、現場定着に向けた支援もご用意しています。



研修内容の実践状況チェック



定期的なフィジカルチェック



実践状況に応じた改善提案



腰痛予防教室・フォローアップ研修



ロボタスネット株式会社

〒540-0008

大阪府大阪市中央区大手前1-7-31

QMM1階

TEL: 090-5795-3647

MAIL: contact@robotasu.net

URL: <https://cf-robo.com/tentou-youtsu-com>

